

---

【JPX Weekly News】

日本取引所グループメールマガジン vol. 280 (2022/07/25)

---

<<< 今週の目次 >>>

- 【1】注目のニュース
- 【2】新着セミナー・イベントのご案内
- 【3】株式市場
- 【4】先物・オプション市場
- 【5】その他

※本号では、公認会計士・監査審査会からの寄稿を掲載しています。

=====

※ 以下については、公認会計士・監査審査会のウェブサイト掲載にあたり、上記目次【5】その他 ◆公認会計士・監査審査会からの寄稿を抜粋しております。

=====

---

【5】その他

---

◆公認会計士・監査審査会からの寄稿

公認会計士・監査審査会（以下「審査会」）は、監査品質の向上と監査の信頼性確保の観点から、監査事務所（監査法人及び公認会計士）に対するモニタリング（検査等）を実施しており、令和4年7月15日に下記(1)～(3)を公表しました。

(1)「令和4事務年度監査事務所等モニタリング基本計画」

<https://www.fsa.go.jp/cpaob/shinsakensa/kihonkeikaku/20220715/20220715-1.html>

(2)「令和4年版モニタリングレポート」

<https://www.fsa.go.jp/cpaob/shinsakensa/kouhyou/20220715/20220715-2.html>

(3)「監査事務所検査結果事例集（令和4事務年度版）」

<https://www.fsa.go.jp/cpaob/shinsakensa/kouhyou/20220715/20220715-3.html>

令和4事務年度のモニタリングにおいては、(1)「令和4事務年度監査事務所等モニタリング基本計画」のとおり、引き続き、監査の品質の向上に向けた監査事務所経営層のコミット

メントや業務管理態勢・品質管理態勢の実効性等を重点的に検証します。また、「監査に関する品質管理基準」の改訂を踏まえ、リスク・アプローチに基づく品質管理システムの導入に向けた監査事務所における準備・対応状況について重点的に確認します。さらに、中小規模監査事務所が監査する上場会社数が増加していることに鑑み、中小規模監査事務所に対する検査をより重視した運用を行います。

このようなモニタリングの状況について、学生など幅広い層に情報を提供するため、(2)「モニタリングレポート」として年次で取りまとめ、公表しています。令和4年版においては、監査事務所や被監査会社などの現況を記載し、監査業界の全体像を俯瞰するとともに、審査会のモニタリングの状況を記載しているほか、会計監査人の異動状況を含め、モニタリングを通じて把握した監査事務所の運営状況などを記載しています。

また、監査事務所に対する検査において認められた監査の品質管理に関する問題点については、主な指摘事例を(3)「監査事務所検査結果事例集」として年次で取りまとめ、公表しています。令和4事務年度版では、最近の検査における指摘事例や評価できる取組を充実させているほか、「品質管理基準等の改訂への対応」、「監査上の主要な検討事項（KAM）」の項目を追加し、求められる対応等について記載しています。

上場会社等におかれましては、これらの内容も参考に、会計監査人とのコミュニケーションを一層積極的に行っていただくことを期待しています。

また、投資者など市場参加者にとっても、適正な会計監査の確保を通じ、企業の適正な財務情報が継続的に開示されることは重要ですので、是非参考にさせていただければと思います。

◇著者紹介 八木原 栄二（公認会計士・監査審査会事務局 審査検査課長）

◇公認会計士・監査審査会ウェブサイト

<https://www.fsa.go.jp/cpaob/index.html>